

# バリューアップその1 ～わかりやすいマニュアル製作～

## 《Before》

Wordを使って作成していたため、文字が多くわかりやすさが課題でした。

## 《After》

写真やイラストを加えるほか、全体の構成を見直して色彩を加えることで、よりわかりやすいものに生まれ変わりました。

## 《POINT》

マニュアルの内容は「誰でも簡単に」を意識して作成されていたものの、レイアウト自体のわかりやすさが課題でした。

そのため、専門の製作会社へ相談し、構成から色彩まで一新した結果、よりわかりやすいものとなりました。

※左記写真は一例です。

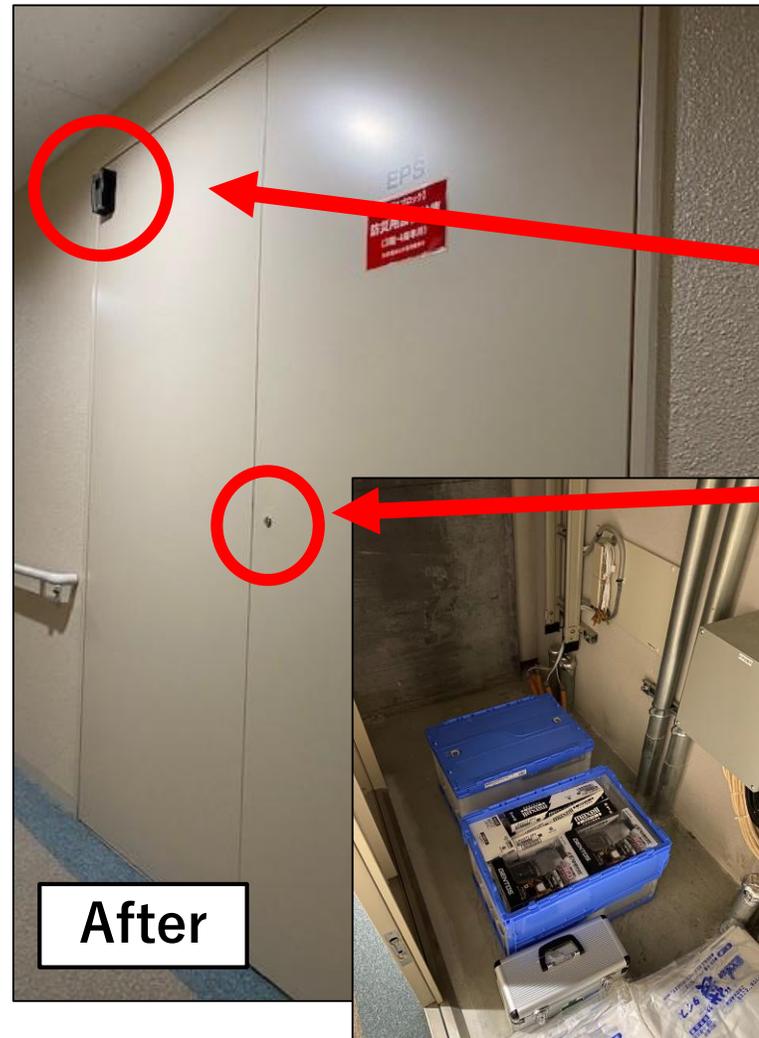
※添付データは加工しております。

Before

After

～写真やイラスト・色彩を加えることでよりわかりやすく～

## バリューアップその2 ～階段移動はパイプスペースで解決～



### 《POINT》

各階のパイプスペースには左記のような空間があり、これを有効活用し防災用品を分散して配置しました。

これにより住民の階段移動を軽減し、災害発生時の負担を減らしています。

ドアは施錠ができるよう加工し、暗証番号式のキーボックスを設置しカギを格納しています（暗証番号はマニュアルに掲載されています）。

※左記写真は一例です

～倉庫として使用できるようドアを加工し防災用品を格納～

# バリューアップその3 ～館内表示で「ここに集まれ！」～



【第1ブロック拠点階】  
防災用品格納  
災害時集合場所

【第1ブロック】  
防災用品格納庫  
(3階-4階専用)  
※非常時以外使用厳禁※

## 《POINT》

各階のエレベーターホールに設置されている消火栓へ表示を行い、集合場所を明確にしているほか、防災用品を格納しているパイプスペースにも表示を行っています。

これにより日常的に認識していただくとともに、災害発生時に慌てずに対処できるよう配慮しています。

～マニュアルに合わせた館内表示で集合場所や防災倉庫を明確に～

## バリューアップその4 ～必要な物がすぐ見つかる防災倉庫～



Before



After

### 《Before》

防災用品はダンボールの中に収納されたままで、どこになにがあるかわからない状態。

### 《After》

折り畳み式コンテナを活用して収納するほか、多くのものを箱から出して配備してあるため、どこになにがあるかすぐにわかる状態。

### 《POINT》

地下の防災倉庫には沢山の物が収納できますが、災害対応と防災用品の用途を考えながら、収納物の仕分けを行っています。

住民単位や各階単位で使用する物は、各階のパイプスペースへ移動、この倉庫には災害対策本部で使用する物品に特化して配備しております。

～「どこ」に「なに」があるか明確にしていつでも使える状態へ～

# バリューアップ番外編 ～ここでもバリューアップ～

## 《エレベーター内にも防災用品を》

エレベーターは非常用タイプであるため災害があっても使用できますが、故障や緊急停止等に備え、全てのエレベーターに防災用品を配備し入念に備えています。

## 《救急キットは定期的な入れ替えを》

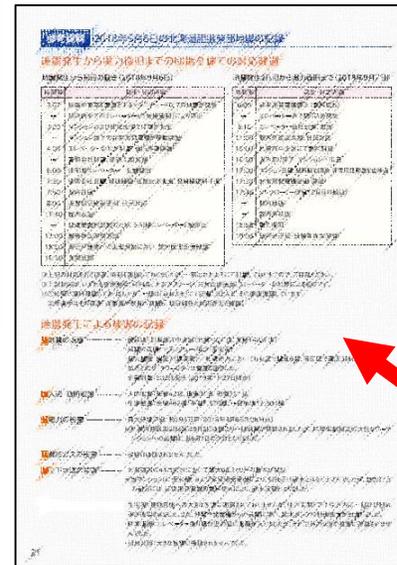
救急キットの中には沢山の医薬品などが入っておりますが、いずれも「有効期限」があります。

定期的に入身を入れ替える必要があるため、今回の提案の中で中身を一新しました。

## 《マニュアル巻末には当時の記録を》

防災マニュアルの巻末部分に、2018年9月6日の北海道胆振東部地震の記録を掲載しています。

自治体が発表した被害記録のほか、当マンションでの当時の対応経過などが記録されており、いつでも振り返ることが出来ます。



～細かい部分までプラスアルファのバリューアップを～

防災用品を見直して追加購入  
会議室へ納品中（一部）



壊れないようしっかり箱に戻つつ  
取り出しやすいような収納を！



各階のパイプスペースへ格納する  
防災用品は全てコンテナに入れ  
品目・数量を確認します



全て開封して検品作業を行います



検品した防災用品は種類ごとに分類  
不足分がないか確認します

## バリューアップ番外編

～バリューアップの舞台裏～

### 《舞台裏》

Aマンションでは、防災予算として  
400万円という金額を計上しました。

これにより、防災マニュアルが製  
作・印刷されたほか、防災用品が見  
直され、多数の物品が追加配備され  
ました。

これらは全てマンションの会議室へ  
一旦納品され、ここで全て開封し、  
検品作業を行って、改めてコンテナ  
へ格納し、所定の場所へ配備されま  
した。

### 《POINT》

防災用品の配備に伴う一連の作業で  
は、「買って配備した」というだけ  
でなく、「開封」、「検品」という  
確認工程を盛り込み、「いつでも使  
える」状態にしています。

～会議室が一杯になるような防災用品を全て開封し検品・仕分け～

※これらは一例です